

📷子どもたちの写真を撮る全てのカメラマンへ

365子どもとの関わり方講座

～ 子どもの心に寄り添い、最高の笑顔を引き出すコミュニケーション～

👤 講師：富岡そよぎ

第1章：関わり方の基本マインド&姿勢

♥ 1. その子と向き合う

一人ひとり個性があり、感じ方もその時々で変化します。「今しかないその子らしさ」に触れ、目の前の子と丁寧に向き合うことで心地よいコミュニケーションが見つかります。

👁 2. 子どもと同じ視点に立つ

上から見下ろさず、しっかりしゃがんで目線の高さを合わせて対話します。身体的な高さを揃えることで、緊張をほぐし安心感を与えます。

😊 3. ハプニングを受け止める

何が起きても怒らない・イライラしない。トラブルも「笑顔で包み込む」柔軟性を持ちます。「叱る・イライラした表情」はクレームに直結。無理な強制はせず、子どもの気持ちを受け止めながら誘導します。

👉 4. 存在を肯定するマインド

心から「大切だよ」「かわいいね」と思う気持ちは、言葉や態度を通して必ず相手に伝わります。愛着と肯定感を持って接します。

第2章：言葉掛け & コミュニケーションの工夫



言葉でしっかり伝える

会話が成立しない月齢でも優しく声掛け。声掛けがないと信頼関係は始まりません。



ポジティブ言葉変換

「〇〇はダメ！」（否定）ではなく「〇〇しようか！」と肯定的に行動を促します。また、お手本を見せながら説明します。



イヤイヤ期・あまのじゃくな子への対応

誘導を嫌がる時期は「あっちとこっち、どっちを探検してみる？」等、2つの選択肢を用意。



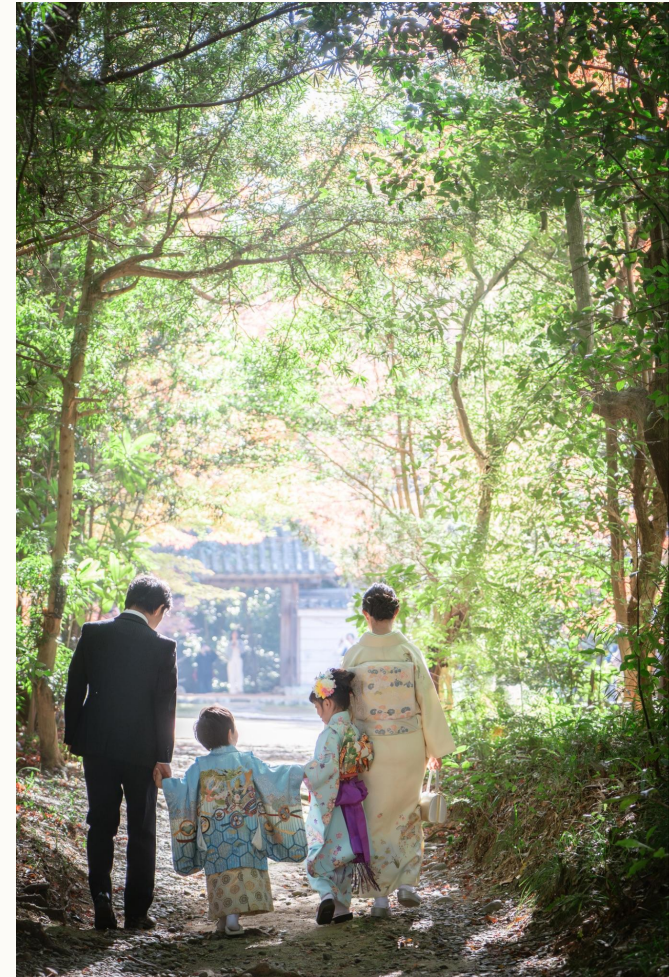
見通しを持たせる工夫

全体の流れを伝えお子様もご家族の方も安心して参加できるようにします。



安心感を与える声とタッチ

穏やかで高めのトーン・ゆっくりしたテンポを意識。触れる際はご家族の方に事前確認。



第3章：撮影の流れ

-  **撮影の基本ステップ① 自己紹介：** ご家族の方へはフルネーム、お子様へは呼びやすい名前を伝え、お子様の普段の呼び名を聞きます。
導入の会話でタイプを探ります。
-  **撮影の基本ステップ② 事前説明：** 撮影の流れを伝えたり、撮影割合のヒアリングを行います。
-  **撮影の基本ステップ③ 身だしなみチェック：** 鼻水・口周り、衣装やヘアメイクの崩れを確認し、必要であれば整えます。
-  **撮影の基本ステップ④ コミュニケーション優先：** いきなりカメラを向けず、まずは関係性構築を最優先します。

第4章：タイプ別アプローチ（①人見知り～③泣いてしまった子）



① 低月齢・人見知りの子

動物のおもちゃ等のモノを間に挟み距離を縮めます。無理に一人で撮らず、最初にご家族の方と遊ぶ姿を遠くから撮影。



② 気分が乗らない・飽きた子

「〇〇は嫌だったんだね」と一度気持ちを受容。「探検に行こう！」「トトロいるかな？」と場所やイメージを変えてワクワクする世界観を作ります。



③ 泣いてしまった子

理由を探り気持ちを受け止めます。ご家族の方による抱っこ等のスキンシップや、水分補給・おやつタイムを挟んで無理なくリフレッシュしてもらいます。

第4章：タイプ別アプローチ（④着物を嫌がる子～⑦7歳女の子）



④ 着物を嫌がる子

「少し緩くしておくね」と腰紐を触り笑顔で安心させます。「あと〇個でおしまい」と終わりの見通しを明確にします。



⑤ 元気いっぱい・動く子

子どもの集中力は20分！集合写真・一人カットを先取り。撮影の中にゲーム要素を取り入れます。また、テンションを上げすぎず落ち着いた雰囲気で導くことも大切です。



⑥ 男児 / ⑦ 7歳女兒

男の子には「これ難しいけどできる？」と挑戦意欲を刺激。7歳女の子には学校や友達のトーク・なぞなぞ・褒めで自然な笑顔を引き出します。

第5章・第6章：グループ撮影&ご家族の方との連携

第5章：複数人・グループ撮影

- > **集合→ソロの流れ**：最初から一人だと緊張するため、全員で撮って場を温めてからソロ撮影へ。
- > **ご機嫌な子・低月齢の子優先**：ベストタイミングを逃さず手早く優先撮影。

第6章：ご家族の方との連携

- > **お直し時の声掛け**：服装・髪を直す際は事前に許可を得る。異性のお子様の場合はパパママに依頼することもあり。
- > **良いところを共有**：子どもの良いところを本人とご家族の方に伝え、現場全体を笑顔に。
- > **感謝の伝達**：ご家族の方に撮影協力していただいた場合は、感謝をしっかりと伝えます。

第7章：赤ちゃん撮影の特別配慮



産後ママへの心身理解：

精神的・体力的に不安定になりやすい時期です。直接赤ちゃんに触れられたくないママもいるため、お子様に触れる際は必ず事前確認を徹底します。



衛生・健康面の徹底：

感染症対策（マスク等）や虫刺され対策をしっかり行います。また、赤ちゃんの体調変化に常に気を配り、無理のないペースで撮影を進めます。



第8章：安全管理・リスク回避と現場配慮

カテゴリ	想定リスク・注意点	具体策・アクション
安全配慮予測	段差・道路・水辺など現場の危険場所	事前に危険を察知し、先回りしてサポート・声掛けを行う
備品・小物の扱い	手水舎での濡れ、小物の破損	お手水の方法や和傘の使い方等を事前説明。
撮影地への配慮	現地設備の乱れ	撮影地の現状復帰の徹底

第9章：現場の持ち物リスト



基本アイテム・撮影小物：

和傘、造花やドライフラワー、鞆/ティッシュ/ウェットティッシュ/ゴミ袋/
荷物置きシート/着崩れ直しグッズ など



年齢別おもちゃ・小物：

- ・3歳：動物のぬいぐるみ、はらぺこあおむし、音の鳴るおもちゃ（※大きな音のするものは口ケでは避ける）等
- ・5歳男児：自作ポケモンカード等
- ・7歳女児：会話ネタ、なぞなぞ等



まとめ：目指すべきプロフェッショナル像

- ★ 「完璧」ではなくその日の「ベスト」へ：事前シミュレーションと当日朝のマインドセットを行い、心に余裕を持って現場に臨みます。
- 👉 リスペクトと愛情を持つ：「大切だな、また会いたいな」と思う気持ちが、素晴らしい写真とお客様のリピートに直結します。
- 💡 自分らしいスタイルを作る：他者の良いところを参考に吸収しながら、自分ならではの関わり方の形を築いていきましょう。

ご清聴ありがとうございました

子どもの心に寄り添い、最高の笑顔を引き出していきましょう

📖 365子どもとの関わり方講座 | 講師：富岡そよぎ